

ZOOM/G6 試奏

Contemporary Jazz Magazine

LIVE REPORT

大林武司  
上原ひろみ  
桑原あい

# 小林香織

デビュー15周年  
記念アルバムをリリース

COVER  
STORY

INTERVIEW

エメット・コーエン  
シャイ・マエストロ  
グレッチェン・パーラト  
Jabuticaba  
海老原しのぶ  
琳佳

SCORE

イェスタデイズ  
ケニー・ドリュウ

ゼア・イズ・ノー・グレイター・ラヴ  
ジョージ・コールマン

タイム・オン・マイ・ハンズ  
(ジャズ・トランペット入門 2)

モダン・ジャズ再入門

ジョージ・コールマンの名演  
「ゼア・イズ・ノー・グレイター・ラヴ」研究

3

2021  
MARCH

## Listen Here

Roseanna Vitro



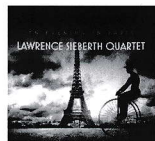
Skyline Recordings  
9526905730

1984年にTexas Rose MusicからLPで発売されたジャズ・ヴォーカリスト、ロザンナ・ヴィトロのデビュー・アルバムがCDと配信でリリースされた。ケニー・バロン・トリオをバックにテキサス・テナーの雄、アーネット・コブが3曲にゲスト参加、編曲・共同プロデューサーとしてフレッド・ハーシュが携わるという魅力的な顔ぶれ。ヴィトロは初アルバムとは思えぬ成熟した歌唱で佳曲の数々をこなし、完成度は高い。デューク・エリントンの④では、コブのテナー・サクソに呼応する彼女の巧みさに舌を巻く。その他、随所でケニー・バロンの安定したプレイも楽しめる。〈小川浩〉

- 1.No More Blues 2.You Go To My Head 3.Centerpiece 4.Love You Madly 5.A Time For Love 6.This Happy Madness 7.Listen Here 8.It Could Happen To You 9.Easy Street 10.Sometime Ago 11.You Took Advantage Of Me 12.Black Coffee
- Roseanna Vitro(vo) Kenny Barron(p/1-2,4-12) Arnett Cobb(sax/3,4,8) Buster Williams(b) Scott Hardy(g/6) Ben Riley(ds) Duduka da Fonseca(perc/1,6) Bliss Rodriguez(p/3) Fred Hersh(arr.co-produce)
- Recorded at Skyline Studios, New York Oct. 4, 1982

## An Evening In Paris

Lawrence Sieberth



Musik Blöd  
3001

ニューオーリンズを拠点に長年活躍しているヴェテラン・ピアニスト、ローレンス・シーバースが、旧宗主国のフランスに渡り、ニューオーリンズ出身でバリ在住のドラマー、ジェフ・ブードローと、地元フランスのミュージシャンと制作した野心作。「慣れ親しんだ環境を離れて、異国での初めて接するミュージシャンとの共演は、自分の新たな側面を導き出してくれた」とシーバースは語る。リリカルな①③④と、激しいリズムが交錯する②⑤⑧のコントラストが美しい。ニューオーリンズのビートにルーツを持つシーバースのオリジナル曲が、フランスのアーティストを刺激する。〈常盤武彦〉

- 1.August 2.The Phantom 3.La Valse Parisienne 4.A Melody's Tale 5.Kinetic #8 6.Pastoral 7.The Singing Bowl Song 8.Lessons In The Fast Lane
- Lawrence Sieberth(p) Stephane Guillaume(ts,ss) Michel Benita(b) Jeff Boudreaux(ds)
- Recorded by Julien Basseres at Studio De Meudon, Meudon France

## Originations

Ryan Cohan



Origin Records  
82804

ユダヤ系とアラブ系のバックグラウンドを持つピアニストのライアン・コーハンは、数年前ヨルダンのアマンで演奏する機会があり、初めて訪れた地にもかかわらず、帰郷したような感覚を持った。そしてコーハンの自らのルーツの音楽を探る旅は始まり、本作へと結実した。中近東音楽と北アフリカ音楽を主題にして、クラシックとモダン・ジャズのハーモニーとインプロヴィゼーションを融合させ、3管とストリングスをフィーチャーした唯一無二のチェンバー・ミュージックが完成する。④は、まさにコーハンの心情を象徴する曲であり、美しく異文化が交錯する。〈常盤武彦〉

- 1.The Hours Before Dawn 2.Imaginary Lines 3.Heart 4.Sabra 5.A Seeker's Soul 6.Essence
- Ryan Cohan(p) John Wojciechowki(cl,fl,alto-fl,ts) Geof Bradfield(b-cl,ss) Tito Carrillo(tp,flh) James Cammack(b) Michael Raynor(ds) Omar Musfi(riqq,frame ds,dumbek) Kaia String Quartet : Victoria Moreira(vln) Naomi Culp(vln) Amanda Grim(viola) Hope DeCelle(vc)
- Recorded by Vijay Tellis-Nayak at Transient Sound, Chicago IL on October & November 2018

## Songs of Joy

Yoko Miwa Trio



ubuntu music  
UBU0057

ボストンを拠点に活躍し、パークリー音楽大学で教鞭をとる三輪洋子。かのアーマッド・ジャマールも「多くの素晴らしいピアニストを聴いてきたが、三輪もそのひとりだ」と、その才能を高く評価している。コロナ・パンデミックが始まってから三輪は、毎日作曲をすることを自らに課した。本作での②④⑤⑦⑨は、日々の揺れ動く三輪の心を映し出した作品だ。⑤は、最後に会うことが叶わなかった、逝去した父への思いを描いている。タイトル曲の③は、毎年共演しているシーラ・ジョーダン(vo)から教えられた曲だ。「一音一音に愛を込めてプレイした」と、三輪は語る。〈常盤武彦〉

- 1.Freedom 2.Largo Desolato 3.Song of Joy 4.Small Talk 5.The Lonely Hours 6.No Problem 7.The Rainbirds 8.Think of One 9.Inside A Dream 10.Tony's Blues 11.Babe I'm Gonna Leave You
- 三輪洋子(p) Scott Goulding(ds) Will Slater(b) Brad Barrett(b/1)
- Recorded by Matt Hayes at Well-spring Sound Studios, Acton, MA

## Roots - Tales Of The Urban Yoda

Joe Bowden



Joe Bowden Music  
Toronto Sound

カナダの大西洋岸・ノヴァスコシア州出身で、1980年代にトロントに進出し、ジャズから、ポップス、R&Bまでヴァーサタイルな活動をするドラマー、ジョー・ボーデンの4作目はジャズ・ファンクの快作だ。タイトなドラムスのビートに乗って、ファンキーにフロント陣がソロを廻す。テナー・サクソ奏者ゴードン・ハイランドのホーン・アレンジも、大きな貢献を果たしている。⑦は、ボーデンが憧れる、1970年代のハービー・ハンコックのヘッド・ハンターズらへのオマージュと思われる。リモートで録音された⑥は、ホーンなしでもトリオの分厚いサウンドがグルーヴする。〈常盤武彦〉

- 1.Doodlin' 2.Groovin' High 3.Sentimental 4.Second Skin 5.The Golden Rule 6.Jazz Dayz 7.The Seventies 8.All For You 9.Bustin' Loose
- Joe Bowden(ds) Robi Botos(kb/1,2,4,5,7,8,9) Michael Shand(kb/3,6) Gordon Hyland(ts,horn arrangement/2,3,4,5,7,8,9) Luis Deniz(as/2,3,4,5,7,8,9) Andrew McAnsh(tp/2,3,4,5,7,8,9) Andrew Stewart(el-b/1,2,4,5,7,8,9) Rich Brown(el-b/3) Calvin Beale(el-b/6)
- Recorded by Jeremy Darby at Canterbury Recording Studio, Toronto Canada. & was recorded remotely by Jeremy Darby

## Jagged Spaces

The Grasso-Ravita Jazz Ensemble



Grassvita Music  
GM0001

テナー・サクソ奏者ゲイリー・トーマスや、ヴァイブ奏者ウォーレン・ウルフを輩出したボルティモア出身の若手ギタリスト、スキップ・グラツと、ベーシストのフィル・ラヴィータが結成したクインテットがグラツ＝ラヴィータ・アンサンブル。そのデビューを飾る本作は、メンバーのヴァラエティに富んだオリジナル曲で固め、その卓越した作曲&演奏能力を誇示している。オープニングを飾る①は、ラヴィータの激しいエレキ・ベース・ソロから端正なアンサンブルへと展開する。グラツの、ウォームなシングル・トーンによる歌心たっぷりなソロも随所で光る。〈常盤武彦〉

- 1.Jagged Spaces 2.Her Life Incomplete 3.Songhai 4.Blue Sunshine 5.Circles 6.All About Cynthia 7.Latin For Leandro 8.The Homecoming 9.Chasing Shadows
- Skip Grasso(g) Phil Ravita(b,el-G-string b) Benny Russell(ts,ss) Greg Small(p) Nuc Vega(ds)
- Recorded by Steve Wright at Wright Way Studios, Baltimore, MD